

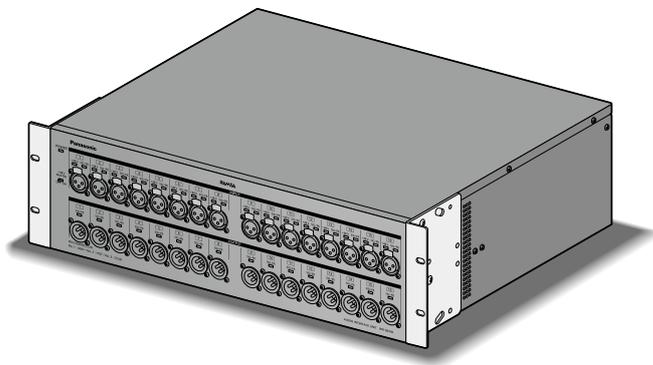
Panasonic[®]

取扱説明書

PC用リモートコントロールソフト

品番: **WR-SB350**

RAMSA



はじめに

商品概要

リモートコントロールソフト（以下、本ソフトウェア）を使用すると設備用オーディオインターフェースユニット（WR-SB350）の各種設定や操作をパーソナルコンピュータから行うことができます。また、ユニット本体で設定できないパラメーターをオプションとして設定・表示する機能や、ユニットのデータを保存・読み込みするデータ管理機能などがあります。

取扱説明書について

- 本書はWR-SB350専用PC用リモートコントロールソフト（以下、リモートソフト）の操作方法について記載しています。
- 本体の機能に関する内容は、本体の取扱説明書をお読みください。
- 本書の記載は2020年11月現在のものです。
- 本書ではMicrosoft Windows 10 Proをご使用の場合を例に説明しています。ほかのOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。他のOSをご使用の場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

記号	使用できる機種
 重要	該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。
	使用上のヒントが書かれています。

商標および登録商標について

- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、PostScriptおよびPostScriptロゴは Adobe の商標です。
- Microsoft、Encarta、MSN、およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Audinate[®]、Audinateのロゴ及びDante[®]は、Audinate Pty Ltdの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

はじめに

必要なPCの環境について

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCで使用できます。

OS	Microsoft Windows 10 Pro日本語版
CPU	上記OSで推奨されているCPUを搭載しているPCであること
メモリー	上記OSで推奨されているメモリーを搭載しているPCであること
ハードディスク容量	本ソフトウェアのインストール用として100 MBの容量が必要です。
画面	1600×900ピクセル以上の解像度 ※1600×900でご使用の際はWindowsの設定で「タスクバーを自動的に隠す」を有効にしてください。



- 本ソフトウェアの画面は1600×900ピクセルに最適化しています。1600×900ピクセル以上の解像度で使用すると、Windows のデスクトップが表示されます。
- 画面が正しく表示されない場合は、Windows「設定」「ディスプレイ」、「拡大表示とレイアウト」で「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」で100%に変更すると正しく表示されるようになります。

インターフェース 100 Mbps以上のネットワークポートを有すること

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為等は禁じられています。

略称について

このドキュメントでは、以下の略称を使用しています。

- パーソナルコンピュータをPCと表記しています。
- 特に指定がない場合、WR-SB350を本体と表記しています。
- Dante[®]をDanteと表記しています。

オープンソースソフトウェアについて

本ソフトウェアは下記OSSを使用しています。

[OpenSSL and original SSLeay license]
OpenSSL

本ソフトウェアに含まれる第三者製のソフトウェアのライセンスについて

本ソフトウェアは第三者製のソフトウェアを含んでいます。ライセンスは、下記“LICENSE ISSUES”を参照してください。

著作権等について

上記を除いて、本ソフトウェアの著作権、その他の無形財産権は、本パナソニック株式会社または第三者に帰属しており、お客様へは移転しません。

また、本ソフトウェアを使用した際に生じた障害、損失などに関して、弊社はいかなる責任も負いません。

はじめに

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* =====  
* Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.  
*  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
* modification, are permitted provided that the following conditions  
* are met:  
*  
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
*  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in  
* the documentation and/or other materials provided with the  
* distribution.  
*  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this  
* software must display the following acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"  
*  
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to  
* endorse or promote products derived from this software without  
* prior written permission. For written permission, please contact  
* openssl-core@openssl.org.  
*  
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"  
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written  
* permission of the OpenSSL Project.  
*  
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following  
* acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"  
*  
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY  
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE  
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR  
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR  
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,  
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT  
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;  
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,  
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)  
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED  
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.  
* =====
```

はじめに

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 * documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 * must display the following acknowledgement:
 * "This product includes cryptographic software written by
 * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 * The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 * being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
```

はじめに

* SUCH DAMAGE.

*

* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]

*/

ネットワークに関するお願い

本ソフトウェアはネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1) 情報の漏えいや流出
- 2) 悪意を持った第三者による不正操作
- 3) 悪意を持った第三者による妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- インターネットに接続していない安全性の確保されたネットワーク上で使用する。
- コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

もくじ

はじめに	2	システムメッセージ	21
商品概要	2	故障かな!?	25
取扱説明書について	2		
記号について	2		
商標および登録商標について	2		
必要なPCの環境について	3		
著作権について	3		
略称について	3		
オープンソースソフトウェアについて	3		
ネットワークに関するお願い	6		
共通操作	8		
インストール・アンインストール	8		
インストールのしかた	8		
アンインストールのしかた	8		
起動と終了	9		
起動のしかた	9		
終了のしかた	9		
ネットワーク接続	10		
ネットワーク環境について	10		
ネットワーク構成について	10		
オンライン編集とオフライン編集について	11		
オンライン編集のしかた	11		
オフライン編集のしかた	11		
オーディオインターフェースユニットの検索と登録	12		
基本操作	13		
画面説明	13		
画面共通	13		
応用操作	16		
プロジェクト情報の設定	16		
データの保存と読み込み	17		
データを保存する	17		
データを読み込む	18		
データのクリア	19		
データのクリア	19		
付録	20		
メニューについて	20		
ファイルメニュー	20		
編集メニュー	20		
モードメニュー	20		
ヘルプメニュー	20		

共通操作

インストール・アンインストール アンインストールのしかた

インストールのしかた

- 1 ダウンロードしたファイルを解凍します。
- 2 解凍フォルダーにある「setup.exe」をダブルクリックします。
インストーラーが実行され、「使用許諾」画面が表示されます。
- 3 「使用許諾契約」をよく読み、使用許諾に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。
「インストール先の指定」画面が表示されます。
- 4 インストール先のフォルダーを指定して「次へ」ボタンをクリックします。
インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダーを選択します。
「追加タスクの選択」画面が表示されます。
- 5 アイコンの追加が不要の場合は、「デスクトップ上にアイコンを作成する」をチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックします。
「インストール準備完了」画面が表示されます。
- 6 インストール内容の確認後、「インストール」ボタンをクリックします。
「インストール状況」画面が表示されます。
- 7 「完了」ボタンをクリックします。
「セットアップ」画面を閉じます。

アンインストールのしかた

- 1 スタートメニューで「設定」を選択します。
「Windowsの設定」画面が表示されます。
- 2 「アプリ」→「アプリと機能」を選択します。
- 3 「WR-SB350 リモートコントロールソフト」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
- 4 画面の指示にしたがってアンインストールしてください。
- 5 アプリケーションがアンインストールされ、スタートメニューからショートカットが削除されます。

起動と終了

起動のしかた

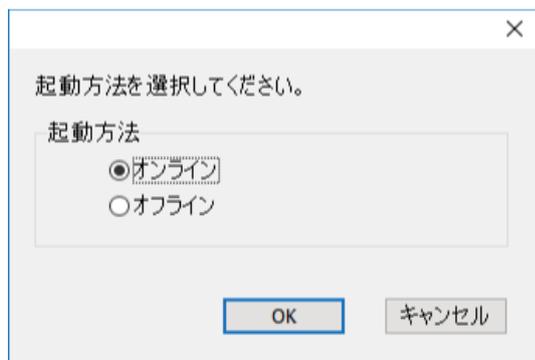
- 1 スタートメニューで [Panasonic] - [WR-SB350リモートコントロールソフト] を選択します。

本ソフトウェアが起動し、「起動方法確認」画面が表示されます。

「起動方法確認」画面でオンライン編集かオフライン編集を選択します。オンライン・オフラインについては「オンライン編集とオフライン編集について」(11ページ)をお読みください。



- デスクトップ上のショートカットからも起動できます。



終了のしかた

- 1 メニューの [ファイル(F)] - [終了(X)] をクリックします。

オフライン編集時に未保存のデータがある場合、保存を確認する画面が表示されます。



ネットワーク接続

本ソフトウェアは本体とネットワーク接続することで本体の設定・制御を行うことができます。

ネットワーク環境について

32チャンネル入出力Danteカード (WR-PC002) の PRIMARY端子に接続されているネットワークスイッチにPCをつないでください。本体のネットワーク・インターフェースに関する仕様は以下の通りです。

ネットワーク : 1000BASE-T
対応プロトコル : IPv4 : UDP/IP

本ソフトウェアでは同一ネットワーク上の本体を検索することができます。

本体のネットワーク設定の初期設定は、DHCP設定です。本体のネットワーク設定は、Dante Controllerで変更が可能です。

ネットワーク構成について

システムを構成するネットワークは以下の2種類があります

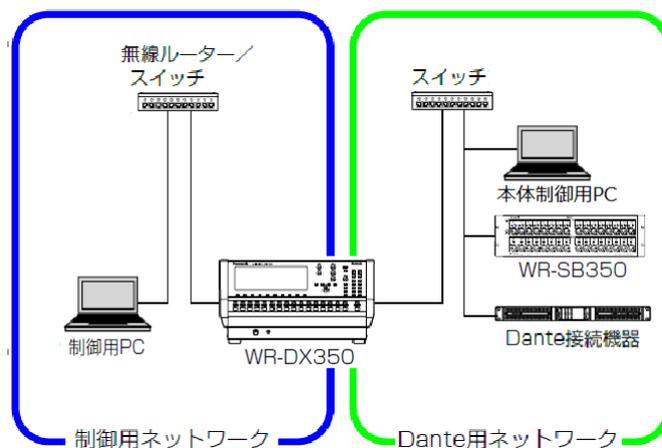
制御用ネットワーク : 本体以外の機器を制御するためのネットワーク

Dante用ネットワーク : Dante機器同士を接続するためと、WR-SB350用のPC用リモートコントロールソフトから制御を行うためのネットワーク



- 制御用ネットワークとDante用ネットワークは必ず独立したネットワークを構築してください。同一ネットワーク上に共存させた場合は正しく動作しないことがあります。

<システム構成例>



- 本ソフトウェアはDanteネットワークを介して最大4台の本体と接続することができます。

オンライン編集とオフライン編集について

本ソフトウェアを使用した操作には、オンライン編集とオフライン編集の2種類があります。

オンライン編集 本ソフトウェアで行った操作を本体にリアルタイムで反映します。

オフライン編集 本ソフトウェアのみでユニットデータの編集を行います。

編集したユニットデータは保存し、オンライン編集時に本体に読み込ませることができます。

オンライン編集とオフライン編集の切り替えは「通信状態切り替え」ボタンか、メニューバーの「モード」を選択して行います。

また、本ソフトウェア起動時にも選択することができます。

現在の通信状態は通信状態表示部で確認することができます。



オンライン編集のしかた

1 オフライン編集中に「通信状態切り替え」ボタンをクリックします。

本ソフトウェア起動時に「オンライン」を選択してもオンライン編集に移行できます。



- オフライン編集からオンライン編集へ移行するとデータの保存画面が表示されます。必要に応じてデータを保存してください。

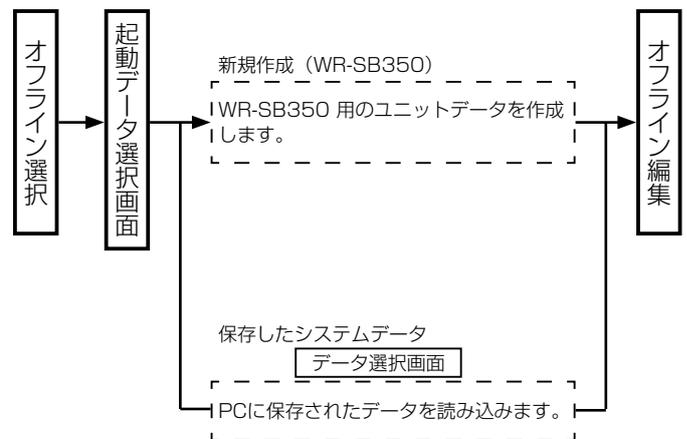
オフライン編集のしかた

1 オンライン編集中に「通信状態切り替え」ボタンをクリックします。

本ソフトウェア起動時に「オフライン」を選択してもオフライン編集に移行できます。



- 本ソフトウェア起動時に「オフライン」を選択した場合は、以下から編集するユニットデータを選択します。
新規作成 (WR-SB350)
保存したデータを読み込む



オーディオインターフェースユニットの検索と登録

新規に接続する本体を検索し、登録します。
本ソフトウェアで制御できる本体は最大で4台です。複数登録された本体は本ソフトウェアで切り替えて設定・制御を行うことができます。

本体の登録は「ユニット選択」画面で行います。「ユニット選択」画面を表示するには以下の操作で行います。

- ツールメニューの [ユニット登録 (M)] をクリック
- オンライン編集へ移行時に新規接続を選択



- ①. **PC設定表示**
PCのIPアドレスが表示されます。
- ②. **検出・登録機器一覧表示**
検出した本体WR-SB350を一覧表示します。表示される内容は以下のとおりです。

品番	本体の品番が表示されます。
IPアドレス	本体のIPアドレスが表示されます。 IPアドレスの変更はできません。変更は、DanteControllerをご使用願います。
機器名称	本ソフトウェアの制御対象として登録されている場合、登録された本体の名称を表示します。
バージョン	本体のバージョンを表示します。
ステータス	同一IDが設定された本体が検出された場合は、ここに”ID重複”と表示されます。このステータスが表示されている場合は、本体と接続はできません。

- ③. **再検索ボタン [再検索]**
ネットワークに接続されている本体を検索します。
- ④. **コールバックボタン [コールバック]**
ユニット登録－設定・登録画面を表示し、②で選択した本体のコールバックを行います。
コールバックが押下により、本体の前面表示灯が点滅します。再度、本ボタンを押下すると本体の前面表示灯の点滅が停止します。
- ⑤. **設定ボタン [設定...]**
「ユニット登録－設定・登録」画面を表示し、②で選択した本体の設定・登録を行います。
- ⑥. **接続ボタン [接続]**
検出・登録機器一覧表示で選択した本体に接続します。
- ⑦. **戻るボタン [戻る]**
「ユニット選択」画面を閉じ、元の画面に戻ります。

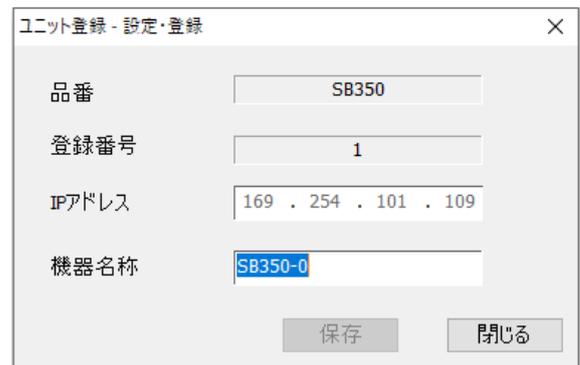
以下に本体の登録方法を説明します。

1 [再検索] ボタンをクリックします。

検出された本体が検出・登録機器一覧表示に表示されず。

2 登録する本体を検出・登録機器一覧表示で選択し、[設定...] ボタンをクリックします。

「ユニット登録－設定・登録」画面が表示されます。



3 機器名称を設定します。



- 機器名称は、半角英数字記号16文字まで入力可能です。
- 機器名称を設定すれば、ユニット選択ドロップダウンで制御対象の本体を切り替えるときに機器名称が表示されます。ユニット選択ドロップダウンは13ページをお読みください。

4 [保存] ボタンをクリックします。

設定した登録番号で「ユニット選択」画面の機器一覧に登録されます。

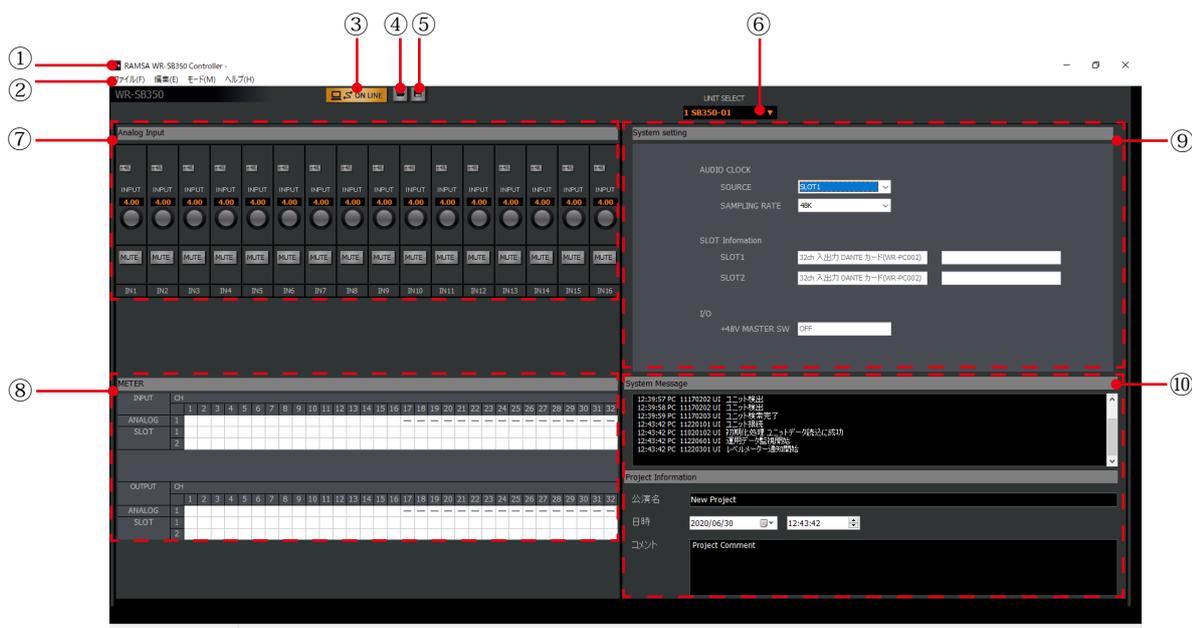
基本操作

画面説明

ここでは各画面について説明します。

画面共通

各画面で共通する内容について説明します。



①. タイトルバー

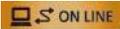
現在運用中の公演名が表示されます。また、プロジェクトデータをセーブまたはロードを行うと、公演名の前にファイル名が表示されます。

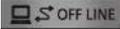
②. メニューバー

リモートコントロールソフトのメニューです。操作したい項目をメニューから項目を選択します。(20ページ)

③. 通信状態切り替えボタン

オンライン/オフラインを切り替えます。また、オンライン/オフラインの状態を表示します。

 ON LINE : オンライン時は橙色点灯しています。

 OFF LINE : オフライン時は灰色です。

④. 開くボタン

保存されているデータを読み込みます。(14ページ)

⑤. 保存ボタン

編集中のデータを保存します。(14ページ)

⑥. ユニット選択ドロップダウン

制御対象のユニットを選択します。ユニット登録画面で登録された本体が2台以上の場合に登録されたユニット台数分表示されます。

⑦. アナログ制御部

アナログ入力のチャンネル1～16の制御を行います。(14ページ)

⑧. メーター表示部

各入出力部のチャンネルのメーターを表示します。(14ページ)

⑨. システム設定部

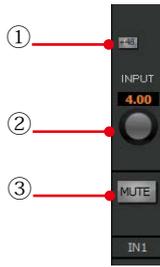
クロック設定や本体の設定状態を表示します。(16ページ)

⑩. プロジェクト設定部

システムメッセージ表示やプロジェクト情報表示を行います。(16ページ)

基本操作

◆ アナログ制御部



①. ファンタム電源ボタン [+48]

ファンタム電源のON/OFFを切り替えます。ファンタム電源が必要なマイクが接続されているときに設定します。本体の+48V MASTERがOFFの時は、ファンタム電源は供給されません。

- 橙色 : ON
- 灰色 : OFF

初期設定: OFF

②. インプットトリムノブ[INPUT]

インプットトリムの調整を行います。ドラッグして左右に移動させてください。設定値が本調整つまみ下部のボックスに表示されます。また、ボックスをダブルクリックすると、レベルを入力することができます。本ボタンはアナログ入力チャンネル1～16のみ表示されます。

- 設定範囲: 4 dB ~ -60 dB (1.0 dB 刻み)
- 初期設定: 4.0 dB

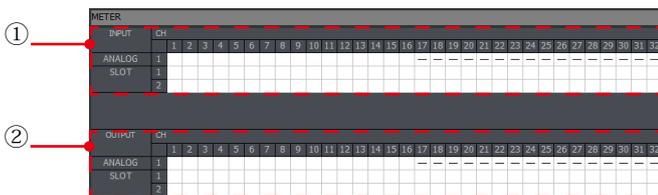
③. Muteボタン[Mute]

アナログ入力チャンネル1～16のMuteを設定します。

- 赤色 : ON
- 灰色 : OFF

初期設定: OFF

◆ メーター部



①. 入力部

音声信号の入力レベルを表示します。本表示灯は、音声信号レベルの有無と、ピークを表示します。

- 消灯: -40 dBu未満
- 緑点灯: -40 dBu以上、+21 dBu未満
- 赤点灯: +21 dBu以上

②. 出力部

音声信号の出力レベルを表示します。本表示灯は、音声信号レベルの有無と、ピークを表示します。

- 消灯: -40 dBu未満
- 緑点灯: -40 dBu以上、+21 dBu未満
- 赤点灯: +21 dBu以上

◆ プロジェクト設定部



①. システムメッセージ表示

運用ログやシステムログを表示します。(16ページ)

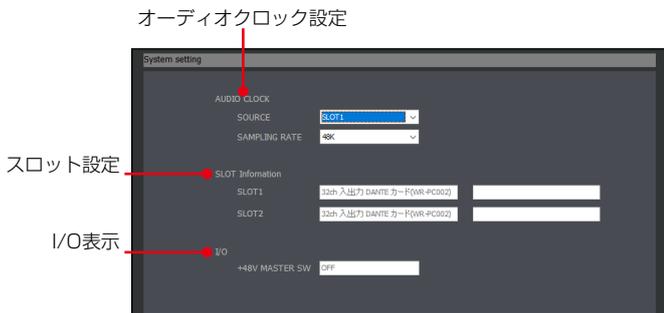
②. プロジェクト情報表示部

固有の情報を入力します。プロジェクト情報は保存データに含まれるため、プロジェクトの付加情報を記録として残すことができます。(16ページ)

基本操作

◆ システム設定部

本体のシステム設定を行います。



■ I/O表示

現在のWR-SB350の前面パネルにある【+48V MASTER】スイッチの設定状態を表示します。

OFF：【+48V MASTER】スイッチがOFFになっています。この設定時は、ファンタム電源が供給されません。また、各チャンネルのファンタム電源の設定をONした場合は、【+48V】表示灯は、橙色点滅します。

ON：【+48V MASTER】スイッチがONになっています。この設定時は、WR-DX350またはPCソフトからファンタム電源の設定をONされた場合は、【+48V】表示灯が橙色点灯します。

■ オーディオクロック設定

1 クロック信号設定

システムの基準となるクロック（ワードクロック）の供給元を設定します。

INT：本機内部のクロックを使用する

SLOT1：SLOT 1から入力されるクロックを使用する。

SLOT2：SLOT 2から入力されるクロックを使用する。

初期設定：SLOT 1

2 サンプリングレート設定

クロック（ワードクロック）のサンプリングレートを設定します。

48KHz：48KHzを設定する。

96KHz：96KHzを設定する。

初期設定：48KHz



- クロック設定を切り替えると、全出力端子の信号がミュートされますので、十分注意してください。

■ スロット設定

スロットに装着されているカード情報を表示します。

1 SLOT1 カード

現在、装着されているカード情報とカードの機器名称を表示します。

カード無し：カードが装着されていません。

32ch入出力Danteカード (WR-PC002)：WR-PC002
カード

初期設定：32ch入出力Danteカード (WR-PC002)

2 SLOT2 カード

現在、装着されているカード情報とカードの機器名称を表示します。

カード無し：カードが装着されていません。

32ch入出力Danteカード (WR-PC002)：WR-PC002
カード

初期設定：カード無し

応用操作

プロジェクト情報の設定

プロジェクトの付加情報を記録することができます。

The screenshot shows a 'Project Information' form with the following fields and callouts:

- ① points to the '公演名' (Project Name) field, which contains 'New Project'.
- ② points to the '日時' (Date and Time) field, which contains '2016/02/10' and '16:18:17'.
- ③ points to the '時間メモ' (Time Memo) field, which contains '16:18:17'.
- ④ points to the 'コメント' (Comment) field, which contains 'Project Comment'.

- ①. **公演名称設定部**
公演名称は、全半角（漢字、ひらがな、カタカナ、英数字記号）64文字まで入力できます。ここで設定した名称は、タイトルバーに表示されます。
- ②. **日付メモ**
編集しているプロジェクトの日付を表示します。
- ③. **時間メモ**
編集しているプロジェクトの時間を表示します。
- ④. **コメント設定部**
任意のコメントを入力します。1000文字まで入力することができます。

データの保存と読み込み

本ソフトウェアでは、設定データを保存（バックアップ）および読み込むことができます。

設定データ

- アナログ制御部のファンタム電源ボタン、インプットトリム、Muteボタン

保存/読み込みができるのは WR-SB350 1 台分のユニットデータです。

データを保存する

- 1 ファイルメニューの [名前を付けて保存 (A)] を選択します。

データ保存画面が表示されます。新規作成のデータを初めて保存する場合、[上書き保存(S)] を選択してもデータ保存画面が表示されます。



画面の [■] ボタンをクリックしてもデータの保存画面が表示されます。

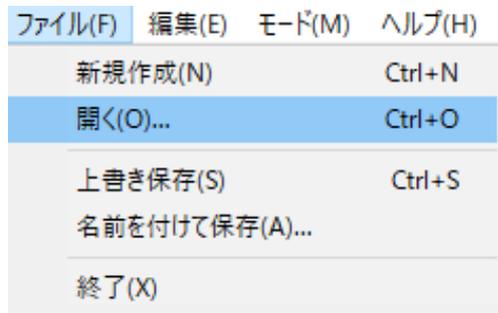
- 2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。

- 3 [保存] ボタンをクリックします。データの保存が実行されます。

データを読み込む

- 1 ファイルメニューの「開く(O)」を選択します。

データ読み込み画面が表示されます。



画面の  ボタンをクリックしてもデータの読み込み画面が表示されます。

- 2 読み込むデータが保存されているフォルダーを選択し、読み込みを行うファイル名を選択します。

- 3 「開く」 ボタンをクリックします。

選択したファイルが読み込まれます。



- オンライン時に、データのデータロードを選択すると、接続されているユニットに対して保存したデータの反映を行います。

データのクリア

データのクリア

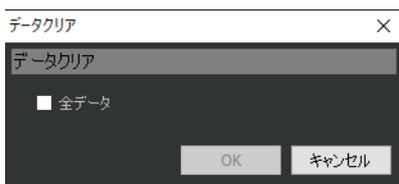
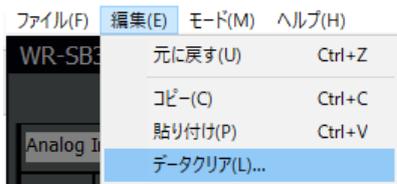
設定データを工場出荷時の設定に戻すことができます。

設定データ

- アナログ制御部のファンタム電源ボタン、インプットトリム、Muteボタン
- オーディオクロック設定のクロック信号設定、サンプリングレート設定

1 編集メニューの [データクリア(L)] を選択します。

データクリア画面が表示されます。



2 チェックボックスをクリックします。

選択した項目のチェックボックスが [] に変わります。

3 [OK] ボタンをクリックします。

データクリアの実行を確認する画面が表示されます。



4 [はい(Y)] ボタンをクリックします。

データの初期化が実行されます。



- データの初期化を行うと工場初期出荷値に戻りますので、必要なデータはバックアップするなどしてから実施してください。

[いいえ(N)] ボタンをクリックすると初期化を実行せずにデータクリア画面を閉じます。

付録

メニューについて

プロジェクトの付加情報を記録することができます。

ファイルメニュー

新規作成(N)

- オフラインモード時のみ有効です。
- ユニット選択画面で機種を指定することにより、初期設定のデータを本ソフトウェア上に読み込むことができます。
- データを編集しているときに選択すると、保存確認のための画面が表示されます。

開く(O)

- データロード画面が表示され、保存していたデータ（ファイル）を開くことができます。
- オフラインモードでデータを編集しているときに選択すると、保存確認のための画面が表示されます。

上書き保存(S)

- 現在開いているデータを編集中のファイルに上書き保存します。オフラインモード時のみ有効です。

名前をつけて保存(A)

- データセーブ画面が表示され、保存するデータタイプとファイル名を指定して、編集中のデータを選択したファイルに保存します。

終了(X)

- 本ソフトウェアを終了します。
- オフラインモードでデータを編集しているときに選択すると、保存確認のための画面が表示されます。

編集メニュー

データクリア(L)

- データクリア画面が表示され、項目のデータを初期値に戻します。

元に戻す(U)

- 直前のカット&コピー操作、アンドゥ操作を1回だけキャンセルし、元の状態に戻します。
- アンドゥバッファは、メイン画面の切り替えによりクリアされます。

コピー(C)

選択されたパラメーター（チャンネル）の設定値をクリップボードにコピーします。テキスト編集時は選択された文字列がクリップボードへコピーします。

貼り付け(P)

- クリップボードにコピーされているデータを選択されたパラメーター（チャンネル）に貼り付けます。クリップボードに文字列がコピーされている場合はテキスト領域に文字列を貼り付けすることができます。

- クリップボードに該当するデータが存在しない場合、貼り付けは実行されません。

モードメニュー

オンライン(N)

- オフラインモード時のみ有効です。
- ユニット選択画面で機種を指定することにより、初期設定のデータを本ソフトウェア上に読み込むことができます。
- データを編集しているときに選択すると、保存確認のための画面が表示されます。

オフライン(F)

- リモートコントロールソフトをオフラインモードに切り替えます。
- オフラインモードでは、本ソフト単体でデータの編集が行えます。

ヘルプメニュー

目次(C)

- 取扱説明書が表示されます。
- お使いのPCにあらかじめAdobe Readerをインストールする必要があります。

WR-SB350 Controller について(A)

- 本ソフトウェアのバージョン情報画面が表示されます。
- オンライン中は、本体のソフトウェアバージョンを確認することができます。

システムメッセージ

運用ログやシステムログについて説明します。

システムに異常が発生した場合は、システムメッセージを表示し、「異常状態の発生および復旧時に記録されるログ」の有無を確認してください。システム異常時の対処方法は、本体の取扱説明書をお読みください。異常が解消されない場合は、販売店にご連絡ください。また、1つの操作により複数の同じようなログが記録される場合がありますが、機器の動作としては、連動したそれぞれ異なる意味を持っています。付加情報には、機器構成にしたがって、補足的な内容が記録されるため、ここでは概要を記載します。

通信や操作による動作で記録されるログ

◆ 本体のシステムメッセージ

内容	付加情報	説明
ユニット起動	内部コード	本体起動
ユニット運用開始	内部コード	本体起動処理完了
リモコン接続のモード切替開始	内部コード	リモコン接続開始
プロジェクトデータ変更のモード切替開始	内部コード	プロジェクトデータ変更処理開始
リモコンデータ同期のモード切替開始	内部コード	リモコンデータ同期処理開始
リモコン接続のモード切替終了	内部コード	リモコン接続終了
プロジェクトデータ変更のモード切替終了	内部コード	プロジェクトデータ変更処理終了
リモコンデータ同期のモード切替終了	内部コード	リモコンデータ同期処理終了

◆ PC ソフトのシステムメッセージ

内容	付加情報	説明
GUI 起動		PC ソフトウエア起動
GUI 終了		PC ソフトウエア終了
初期化処理 ユニットフォルダー作成に成功		本体接続、接続処理完了
初期化処理 ユニットデータ読込に成功		本体接続、接続処理完了
終了処理 ユニットフォルダー作成に成功		本体切断、切断処理完了
終了処理 ユニットデータ書込に成功		本体切断、切断処理完了
コピー		データコピー
貼り付け		データ貼り付け
Undo		アンドゥ実行
Redo		リドゥ実行
ロード画面 ユニットデータロード実行	ファイル名	ユニットデータロード実行
ロード画面 ロード終了	ファイル名	データロード完了
セーブ画面 ユニットデータセーブ実行	ファイル名	ユニットデータセーブ実行
セーブ画面 セーブ終了	ファイル名	データセーブ完了
ユニット登録 登録番号変更	登録番号、MAC アドレス、 IP アドレス	ユニット登録
ユニット検索開始		ユニット検出力開始
ユニット検出		ユニット検出
ユニット検索完了		ユニット検出力終了
ユニットIP 情報変更開始		ユニットIP アドレス変更処理 リトライ
ユニットIP 情報変更完了		ユニットIP アドレス変更終了
IP 重複チェックOK	IP アドレス	ユニットIP アドレス重複チェック 完了
ファイル生成に成功	フォルダー名	ファイル生成処理
ファイル読込に成功	フォルダー名	ファイル読み込み処理
ファイル書込に成功	フォルダー名	ファイル書き込み処理
ファイル削除に成功	フォルダー名	ファイル削除処理
フォルダー生成に成功	フォルダー名	フォルダー生成処理

異常状態の発生および復旧時に記録されるログ

◆ 本体のシステムメッセージ

内容	付加情報	説明
PCとの接続超過	内部コード	3 台目のリモコンからの接続要求
PCとのヘルスチェックNG	内部コード	リモコンとの定期通信エラー
DSP xx 通信エラー発生	内部コード	信号処理部通信エラー発生
DSP xx 通信エラー回復	内部コード	信号処理部通信エラー復旧
IO xx 通信エラー発生	内部コード	I/O 部通信エラー発生
IO xx 通信エラー回復	内部コード	I/O 部通信エラー復旧
IO xx 認識NG	内部コード	I/O 部認識エラー
Ether デバイスエラー発生	内部コード	イーサネット部デバイスエラー発生
FAN アラーム発生	内部コード	ファン異常発生
FAN アラーム回復	内部コード	ファン異常復旧
CLOCK エラー回復	内部コード	クロックエラー復旧
CLOCK エラー発生	内部コード	クロックエラー発生
カレントデータエラー発生	内部コード	カレントデータエラー発生

◆PC ソフトのシステムメッセージ

内容	付加情報	説明
多重起動のため起動失敗		PC ソフト複数起動時
初期化処理 プロジェクトデータ不正		プロジェクトデータエラー発生 (起動処理)
初期化処理 ユニットデータ不正		ユニットデータエラー発生 (起動処理)
プロジェクトデータのロード失敗		プロジェクトデータ読み込みエラー発生
ユニットデータのロード失敗		ユニットデータ読み込みエラー発生
プロジェクトデータのデータ不正		プロジェクトデータエラー発生
ユニットデータのデータ不正		ユニットデータエラー発生
プロジェクトデータのセーブ失敗		プロジェクトデータ書き込みエラー発生
ユニットデータのセーブ失敗		ユニットデータ書き込みエラー発生
ユニットIP 情報変更 タイムアウト		ユニットIP アドレス変更タイムアウト
ファイル読込 ファイルなし	ファイル名	読み込みファイルが存在しない
ファイル読込 フォルダなし	ファイル名	読み込みフォルダが存在しない
ファイル読込 アクセス権なし	ファイル名	読み込みファイルのアクセス権なし
ファイル書込 ファイルなし	ファイル名	書き込みファイルが存在しない
ファイル書込 フォルダなし	ファイル名	書き込みフォルダが存在しない
ファイル書込 アクセス権なし	ファイル名	書き込みファイルのアクセス権なし
ファイル書込 ファイルロック中	ファイル名	書き込みファイルロック中
ファイル書込 読取専用ファイル	ファイル名	書き込みファイル読み込み専用
ファイル書込 同名ファイルあり	ファイル名	書き込みファイル同名ファイル検出
ファイル書込 ファイル保存失敗	ファイル名	書き込みファイル保存失敗
ファイル削除 ファイルなし	ファイル名	削除ファイルが存在しない
ファイル削除 フォルダなし	ファイル名	削除フォルダが存在しない
ファイル削除 アクセス権なし	ファイル名	削除ファイルのアクセス権なし
ファイル削除 ファイルロック中	ファイル名	削除ファイルロック中
ファイル書込 読取専用ファイル	ファイル名	書き込みファイル読み込み専用
ファイル削除 ファイル削除失敗	ファイル名	削除ファイル削除失敗
フォルダ生成 フォルダなし	フォルダ名	フォルダ生成失敗
フォルダ生成 アクセス権なし	フォルダ名	フォルダ生成アクセス権なし
フォルダ生成 同名フォルダあり	フォルダ名	フォルダ生成 同名フォルダ検出
フォルダ生成 同名ファイルあり	フォルダ名	フォルダ生成 同名ファイル検出
フォルダ生成 読取専用フォルダ	フォルダ名	フォルダ生成 読み取り専用
IP アドレス不正によりユニット接続不可		ユニット接続エラー (IP アドレス不正)
ポート番号不正によりユニット接続不可		ユニット接続エラー (ポート番号不正)
ユニット接続タイムアウト		ユニット接続タイムアウト
UDP ソケット切断		ユニット切断 (UDP エラー)
ユニット登録時に不正電文を破棄		不正データ受信 (ユニット登録時)
コマンド通信で受信コマンド不正		不正データ受信
コマンド通信で受信タイムアウト		通信タイムアウト

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
本ソフトウェアから本体にアクセスできない	● 本体ネットワークコネクタにカテゴリ5以上のケーブルは接続されていますか？ → 本体との接続にはカテゴリ5以上のケーブルをご使用ください。	—
	● リンクランプは点灯していますか → 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	—
	● 本体の電源は入っていますか？ → 本体の電源が入っているか確認してください。	—
	● 本体に有効なIPアドレスは設定されていますか？ → 次の方法で接続を確認してください。 Windows のコマンドプロンプト > ping 「本体に設定した IP アドレス」 で、本体からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、本体のIPアドレスを確認してください。	—
本体を制御できない	● PCに有効なIPアドレスは設定されていますか？ → 本体と通信するにはファイアウォールの設定でファイアウォールのネットワーク上での通信を許可する必要があります。	—
	● オフライン編集モードになっていませんか？ → 本体を制御するにはオンライン編集モードにする必要があります。「オンライン編集のしかた」をお読みください。	11

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号